

浦西跡 第 53 号  
令和 6 年 10 月 11 日

外務省特命全権大使（沖縄担当）  
宮川 学 殿

浦添市長 松本 哲治



### 米海兵隊員による浦添市民への暴行事件に対する抗議

令和 6 年 10 月 9 日、浦添市内において、キャンプ・フォスター所属の米海兵隊員が浦添市民に暴行を加える卑劣な事件が発生した。

つい先月も市民が米兵から暴行を受ける事件が発生し、抗議を行ったばかりである。

繰り返される事件・事故は、米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている市民に大きな不安を与えており、このような状況は、到底看過できるものではない。

米兵による女性暴行事件や酒気帯び運転が問題視されるなか、事件が多発していることは、米軍が取り組んできた再発防止策の徹底や綱紀粛正は効果が見られないと言わざるを得ない。

よって、度重なる事件に満身の怒りを込めて強く抗議するとともに、下記の事項を徹底するよう強く求める。

### 記

1. 実効性のある再発防止策を早急に講じ、万全を期すよう米側に強く求めること
2. 頻発する米兵による事件に対し厳重に抗議するとともに、綱紀粛正及び教育の徹底を行うよう米側に強く求めること